

ふれあい広場

このページは市民の皆さんと一緒に作るページです。投稿・登場をお待ちしています。秘書広報課（市役所内線207）

クローズアップ

今、「旬」の人や団体を紹介します。



黒っ娘おばんざいの皆さん

(左から) 大久保弘美さん、藤原扶美代さん、池上冨みこさん、上月友美さん、村上いつみさん、西村美佐子さん、村上愛子さん、岡井定子さん

地域の皆さんに食の安全と安心を届けたい

郷土料理の調理や特産加工品の開発を通して黒田庄の魅力を発信しようと、「黒っ娘おばんざい」が8月3日、コミュニティセンター黒田庄地区会館で発足記念式典を開催し、活動を開始されました。

* * *

黒っ娘おばんざいは、今年3月に解散した「企業組合黒つこまザーズ」の後継団体として結成。おばんざいとは、家庭の惣菜を意味する言葉で、料理を食べた方に「ホッと」してもらいたいとの願いが名前に込められています。

グループは「人の笑顔を見る料理作り」を目標に現在8名で活動。黒つこまザーズから受け継いだ巻きずし「黒っ娘巻き」の販売を始めています。またお煮しめやコロッケ、天ぷら、ローストビーフなどのさまざまな料理が入ったお弁当配達もされており、早くも地域の皆さんから好評を得ています。「おいしいと言ってもらえることに喜びとやりがいを感じる」と話すメンバーの藤原扶美代さんは、「旬の食材を使って工夫を凝らしお弁当を食べる人が飽きないようにしたい」と意気込みます。

グループの課題は、新しい特産加工品の開発。自分たちの経験と豊かな地域資源を生かし、お菓子や味噌などの特産品化を目指します。また皆さんは、オーソドブルやおでんの注文販売などの新たな事業の展開も視野に入れているそうです。

代表の上月友美さんは「私たちが作る料理で皆さんに食の安全と安心を届けたい」と、活動への思いを語りました。

市民の皆さんのまちづくり活動を紹介します

みんなでまちづくり♪

「比延地区のよいところ写真」を募集

見どころいっぱい比延地区の写真を募集します。応募作品の中から12作品を選び、平成31年の比延地区年間カレンダーを作ります。

▼テーマ 比延地区の風景写真

▼募集締切 9月30日(日)まで

▼応募資格 どなたでも可

▼応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、写真(2Lサイズ)を裏面に添付し、こみせん比也野へ持参または郵送ください。

▼その他 応募用紙はこみせん比也野で配布しています。

▼応募・問合せ 〒677-0033 西脇市鹿野町720-1 / 比延地区自治協議会(こみせん比也野内) / ☎24-0120



いきいきにしわきっ子



ゆいと 結永
1歳1ヵ月

元気にすくすく大きくなってね
一機・恵美(和田町)

いきいきにしわきっ子を募集しています。写真と紹介文、連絡先を市役所2F秘書広報課へ郵送またはご持参ください。



西脇病院

地域に信頼される良質な医療を提供します
☎22-0111 ☎23-0699 http://nshp.jp/

新しい医師を紹介します



麻酔科医師
鷲尾 輝明

安全・安心で、術前は不安をできるだけ解消し、術後は極力苦痛のない麻酔医療を提供していきたいと思えます。

西脇病院「健康セミナー」
毎月1回、西脇病院医師による「健康セミナー」を開催

健康バンザイ

149



脳神経外科部長
内橋 義人

脳卒中とは

脳血管が詰まったり、破れることによる障害のことで、脳血管障害とも呼ばれます。多いのは詰まる方、すなわち脳梗塞で、脳卒中の4分の3を占めています。現在脳卒中はがんや心筋梗塞、肺炎と並び日本人の死亡の原因となる四大疾病といわれています。

さらに認知症と並んで、発症者が介護を要する状態となる最大の原因になっています。また、認知症の最大の原因といわれています。

「卒」は、突然という意味であり、救急室にいられる患者さんやご家族には、「さっきまでどうもなかったのに」と慌てる方が多いです。

Time is Brain。聞き慣れない言葉だと思いますが、Time is Money(時は金なり)に掛けて、脳卒中になったときは、できるだけ早く治療することで後遺症を軽くできることを表した言葉です。

西脇病院には脳卒中の診療チームが常在しており、近隣の市町からも多数の脳卒中患者を受け入れています。特に時間との勝負になる脳梗塞の場合でも、来院から2時間以内に詰まった血管を再開通させることができるようになってきました。しかし、中には脳卒中であることに気付かず、来院するのが遅れて大きな後遺症が現れた方もおられます。多くの場合、治療に要する時間より、発病してから来院する時間のほうが長いのです。次回はどういう症状が出たら、すぐに病院にかかるべきかについてお話しします。

はなみずきの会

乳がんについて話し、共に歩んでいきませんか。この会はほかの医療機関で治療を受

▼ところ 病院講堂(2階)
▼内容 「気分爽快!一緒に楽しく体を動かしましょう」生活の中でできる運動を紹介します」
▼持ち物 糖尿病手帳、運動継続カレンダー(お持ちの方のみ)、運動しやすい服装
▼問合せ 内科(病院内線535)

エントランスホールギャラリー

北はりま植物画同好会による植物画の展示です。

▼とき 8月27日(月)〜9月21日(金)

▼ところ エントランスホール

▼問合せ 経営管理課(病院内線362)

夏セミナーを開催しました

医学生を対象に、8月16日(木)から18日(土)までの3日間、「地域医療夏季セミナー2018」を開催しました。セミナーでは災害活動研修や、一次救命処置体験などを実施。参加した10名の医学生に地域医療への認識や、地域で勤務することへの興味を深めていただきました。